

愛・地球博記念公園モリコロパーク内 地球市民交流センター

OPEN!

自然を感じ、アートに触れる
「地球市民交流センター」を訪ねて。

10月1日(金)オープンした「地球市民交流センター」は、屋外広場と一体化した大空間の屋内広場、ランドマークとなる半球体の体育館で構成されたユニークな施設。リニモ「愛・地球博記念公園」駅で降り、改札からそのまま連絡歩道橋を渡れば到着です。さあ、ここには何があるのでしょうか? 興味しんしん。環境活動などにも熱心に取り組むタレントの原田さとみさんがモリゾー・キッコロとともにレポートします。



実際のクローバーを25倍に拡大
葉っぱの上はチョークで
絵やメッセージを書けるよ
(クローバーガーデン-25倍の世界-)
スープ 末光弘和+末光陽子)@SUP



後ろの黄色い円は、屋内広場のある場所から見ると
きれいにつながるトリックアートなの。その場所を見つけろ!
(橋内に沿った円/フェリチェ・ヴァリニ)@Felice Vanni



体育館の丸屋根を地球に見立てて 変化する色彩でライトアップ
(カラーグローブ/高橋匡太)@Kyota Takahashi



テーマは「交流」と「環境」

ここは愛知万博の理念と成果を継承・発展させる核として、また、市民参加・市民協働・交流活動の拠点として設立されました。テーマは「交流」と「環境」。そのための楽しい仕掛けが随所に散りばめられています。例えば、国内外のアーティストによる展示作品や環境への理解と交流を深める展示作品が設置されていますが、これはアートをきっかけに人々が「見て、参加して、楽しく、遊び、学び、交流する場」とするための仕掛けです。

私は、地球市民交流センターで活用している自然エネルギーのデータとリンクさせながら、CO₂削減量を、肺を象徴した白いバルーンの呼吸でイメージさせる「ホワイト ラング(白い肺)」という作品に感心しました。これならCO₂削減について、情報や知識だけでなく空間的に体感することができますね。



自然エネルギーの活用とCO₂削減の関係
白いバルーンで表現しているんだって
(ホワイト ラング/ブラフ)@BRF

さまざまな自然エネルギーを活用

地球市民交流センターには、光、風、緑、水、土などの持つエネルギーを活かしたさまざまな技術が使われています。例えば、屋内広場にある体験学習室、多目的室、多目的スタジオの各部屋と体育館に導入されているクールチューブ・クールピットは、年間変動の少ない地中温度を利用した設備。地中に埋めた管や床下に空気を通すことで、気温を調節して冷暖房費を節約します。

他にも、井戸水ヒートポンプ、太陽光発電トップライト、自然換気、ドライミスト、屋上や壁面の緑化など、自然エネルギーを活用して環境負荷の低減に努めています。



●わぁ、涼しい。水を霧状に散布して、高発する気化熱で気温を下げてくれる
●愛知県の形をつかった上水用の木製タンク
●2本のペットボトル1万本分(20ml)も入るんだよ
●観覧車の下から風が吹いてます
地中を通した空気を送ることで室温を調整しているんだって



さあ、モリゾーとキッコロといっしょに、地球市民交流センターを見学しよう!

市民の市民による交流拠点をめざして

地球市民交流センターでは今後、「交流」と「環境」をテーマにした、さまざまなプログラムやイベントが行われます。遠足や校外学習などで来訪する学校などの団体向けには、体験し楽しみながら学べる幅広いプログラムを用意。また、一般来園者を対象とした講座・展示・発表会など、さまざまなイベントを開催すると同時に、誰もが自由に参加、観覧できるプログラムなどを、自主的に企画開催していただけるパートナー(個人または団体)も募集しています。

私は今、COP10発表・交流事業の一環として、10月17日(日)に愛・地球博記念公園モリコロパークの大芝生広場で開催する「エンカル・ファッションショー&フェアトレード・トークショー」〜生物多様性とフェアトレードへの準備を進めています。これからは地球市民交流センターの各施設を活用したイベントもどんどん企画してみたいと思います。



原田さとみ氏
タレント/エンカル・コーディネーター
おしゃべり・講演・絵本の読み聞かせ・司会・執筆などで活躍。エコロジカルで人道的なエンカル・ファッションの普及活動を中心に、フェアトレード(公正な貿易)推進などに取り組むほか、「コップなごや水害基金」の世話人、JICA中部ごごや地球ひろばサポーターなどを務め、東海圏を中心に幅広く活動中。
10月17日(日)モリコロパーク・大芝生広場にて「エンカル&フェアトレード・ファッションショー」をプロデュース・トーク出演します。

地球市民交流センター 開館記念式典 知事式辞

愛知県知事 神田真秋氏

本日、ここに地球市民交流センターの開館記念式典を開催しましたところ、ご多忙にもかかわらず、多くのご来賓並びに関係の皆様方にご臨席を賜り、厚くお礼申し上げます。

また、日頃から、県政の各般にわたり格別のご理解とご協力を賜り、この場をお借りしまして厚くお礼申し上げます。

さて、中国で開催されている上海万博もいよいよ残すところ1ヶ月となりましたが、5年前には日本全国・世界各地から多くの人々がこの愛知を訪れ、2005年日本国際博覧会に来場されました。

この愛・地球博から5年目という節目の年に、博覧会の理念と成果を継承し、さらに発展させる核となる施設としてこのたび「地球市民交流センター」を開館できる運びとなりました。

この施設は、光や風など自然エネルギーを活用した環境技術を導入しており、建物自体が環境負荷の低減につながる技術や設備を学べる場となっております。

また、博覧会成功の原動力となりました「市民参加」や「市民協働」を継承するため、NPO団体や企業の方々にご協力を頂いて、「環境」や「交流」をテーマにした多彩なプログラムを準備しています。

さらに、県民の皆様方が自主的に様々なイベントや講習会を企画・開催することもできますので、この施設が将来、県民の交流活動の拠点へと育ち、皆様方に広く利用されていくものと考えております。

さて、博覧会の理念と成果をさらに発展させるため講義を行いました生物多様性条約第10回締約国会議COP10もいよいよ今月開催を迎えることとなります。開催地元としては会議支援だけでなく、生物多様性を多くの方に理解していただくために様々な関連事業を予定しております。こちらも関連会場の一つとして、

9日から地球市民交流センターを始めとする園内で、環境や生物多様性に関する様々な催しものや展示などを行う予定となっております。

このCOP10開催を契機として、本公園から再び国内外に向けた情報発信ができるものと期待しております。

地球市民交流センターを中心に、今後も県民の皆様方に親しまれる魅力あふれる公園づくりを、着実に進めてまいりますので、ぜひ多くの皆様方にご利用を頂きたいと考えております。

最後になりましたが、本日ご臨席の皆様方のご健勝とご活躍を心から祈念いたしまして、私からのご挨拶とさせていただきます。

地域住民として、地球市民として、誰もが参加し活動できる新たな拠点に期待します

ボランティア活動を始めたきっかけは、2005年に開催された愛・地球博(愛知万博)です。産業廃棄物になってしまうバナナの茎を、紙や繊維に替えることで、森林伐採が減ると言うことを伝えるために、バナナの茎から紙をつくる体験会を行いました。そのボランティア仲間たちが、万博後も活動を継続しようと立ち上げたのが「森林を守るバナナくらぶ」です。現在は県内の学校やイベントなどに Outreach、紙すきと環境学習に取り組んでいますが、バナナの茎からハガキができるのを目の当たりにすると、子どもたちの目が輝きます。地球市民交流センターでも10月13日~15日、19日~22日、26日~29日の11日間、紙すき体験会を開きます。



森林を守るバナナくらぶ
世話人代表
林鈴夫氏

パスポートを買って頻りに通った愛・地球博(愛知万博)には、素晴らしい経験をいっぱいさせてもらいました。「万博村の会」は、万博終了に涙した仲間や、楽しいことが大好きな仲間が集まった団体。愛・地球博記念公園や周辺地域へのご恩返しに気持ちを原動力に、ユーモアあふれるイベントなどを独自に企画運営しています。10月2日(土)には、今年で第2回となる「ハロウィン仮装ダンス」を地球市民交流センターの体育館で開催します。皆さん、仮装して遊びに来て下さい。簡単コスチューム作りや仮装パレードなどハロウィンにちなんだプログラムをはじめ、COP10国際コース会議「交流会」の成果展示もありますよ。



「万博村の会」代表
柴田麻美氏

愛・地球博ボランティアセンターの当初の仕事は、2005年に開催された愛・地球博(愛知万博)を支えるボランティアを集めることでした。7千人の募集に対し、3万人の応募があり、急遽全員の採用を決定。会期中、延べ10万人を超える市民ボランティアの参加が実現し、愛知万博の大きな成果になりました。万博終了後もその理念を継承しNPO法人化、万博で蓄積したノウハウとデータを財産に、愛・地球博の関連施設やイベントでのボランティア活動支援、またCOP10におけるボランティアマネジメント事業なども展開。まだボランティア活動をしたことがない新たな層の開拓と、新たな活動の創造と支援を行っていきます。



NPO法人
愛・地球博ボランティア
センター マネージャー
榎原考佐氏



愛知県建設部公園緑地課 大規模公園グループ
愛・地球博記念公園管理事務所
TEL 052-954-6528(ダイヤルイン) FAX 052-953-5329
http://www.pref.aichi.jp/koen/AI_CHIKYU/ai-top.htm
TEL 0561-64-1130 FAX 0561-61-2150
http://www.aichi-tooh.or.jp/park/park1/P/morikoro/index.html

地域から信頼される
信用金庫を目指して

瀬戸信用金庫

瀬戸市東横山町119番地の1
☎0561-82-3141(代表)
http://www.setoshin.co.jp

快適づくりのプロフェッショナル

TOENEC
トエネック

名古屋市中区栄1-20-31
電話052-221-1111

土や人が築く未来。

TSUCHIYA TSUCHIYA CORPORATION

本社/本店：岐阜県大垣市神田町2丁目5番地
TEL：0584-81-5111
http://www.tsuchiyaumi.co.jp